

冷間圧延鋼板(SPCC)

SPCCは最も一般的な冷間圧延鋼板ともいわれ、ミガキ、コールド、ミガキ鋼板とも呼ばれることもあります。表面は滑らかで見栄えがよいですが、オイルなどにより一時的に錆び難くしているだけのため、加工後は塗装やめっき処理を行わないとほぼ確実に錆びていきます。一般的な成形性を求められるプレス加工から、絞り加工(深絞りには不向き)まで幅広く使うことができます。

SPCCの成分(%)

鋼板の種類、記号	C (炭素)	Mn (マンガン)	P (リン)	S (硫黄)
SPCC	0.15以下	0.60以下	0.100以下	0.035以下

SPCCの機械的性質(引張強さ、降伏点、耐力、伸び)

鋼板の種類	引張強さ (N/mm ²)	降伏点、耐力 (N/mm ²)	伸び (%)						
			板厚 (mm)						
			0.25以上	0.30以上	0.40以上	0.60以上1.0	1.0以上1.6	1.6以上2.5	2.5以上
			0.30未満	0.40未満	0.60未満	未満	未満	未満	
SPCC	270以上	-	28以上	31以上	34以上	36以上	37以上	38以上	39以上

SPCCの調質記号と硬度

調質の種類	調質記号	硬度：ロツクウェル硬さ (HRBS)	硬度：ビッカース硬さ (HV)	引張強さ (N/mm ²)	伸び (%)
焼きなました状態のまま	A	57以下	105以下	-	-
標準調質	S	65以下	115以下	-	-
1/8硬質 (SPCCのみ)	8	50~71	95~130	290~410	25以上
1/4硬質 (SPCCのみ)	4	65~80	115~150	370~490	10以上
1/2硬質 (SPCCのみ)	2	74~89	135~185	440~590	-
硬質	1	85以上	170以上	550以上	-

冷延鋼板の表面仕上げ

仕上げの種類	表面仕上げ記号	詳細
ダル仕上げ	D	つや消し仕上げ。物理的、もしくは化学的に表面を粗
ブライツ仕上げ	B	滑らかなロールで表面を平滑に仕上げたもの。